

教科	美術
----	----

目 標	<p>ひょうげんおよ かんしょう はばひろ かつどう とお ぞうけいてき みかた かんが かつ はたら せいかつ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や しゃかい なか びじゅつ びじゅつ ぶんか ゆた かなか しつ のうりよく つぎ 社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成すること を目指す。</p>
	<p>(1) ぞうけいてき してん りかい いと おう じぶん ひょうげんほうほう つい 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追 きゅう ぞうぞうてき あらわ 求して創造的に表すことができるようにする。</p>
	<p>(2) ぞうけいてき うつく ひょうげん いと ぞうぞうてき くふう かんが しゅだい 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題 う だ ゆた はっそう こうぞう ね びじゅつ びじゅつぶんか たい みかた かん を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感 じ方を深めたりすることができるようにする。</p>
<p>(3) しゅたいてき びじゅつ かつどう と く ぞうぞうかつどう よるこ あじ びじゅつ あいこう 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する しんじょう ふか こころゆた せいかつ ぞうぞう たいど やしな 心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>	

将来の生活に向けて授業で付けたい力

<p>ひょうげん よるこ うつく かん ゆた じょうぞう ・表現する喜びと、ものの美しさを感じる豊かな情操 ひょうげん ひつよう ぞうけいざいりょう ようぐ ちしきおよ ぎのう ・表現に必要な造形材料・用具の知識及び技能</p>

関連する行事等

<p>全学年: ぶんかさい がつ 文化祭 (10月) とやまけんこうとうがっこうぶんかさい がつ 富山県高等学校文化祭 (11月)</p>
--

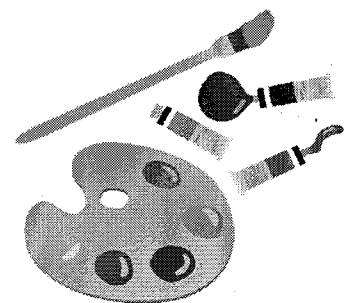
使用教科書

<p>つくる・みる・まな びじゅつ にほんぶんきょうしゅつぽん つくる・見る・学ぶ美術のきほん(日本文教出版)</p>
--

学習内容

<美術科 1学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4 ・ 5 ・ 6 月	みぢか びじゆつ 身近な美術 いろいろな表情 (2)	(知) 丸い輪郭の中に描く目、鼻、口のパーツの位置次第で、表情が変わることを理解している。 (思) 笑顔、怒った顔、泣き顔などの表情を描き分けている。 (主) 身の回りにあふれる「美術」に関心をもって、学習活動に取り組みようとしている。
	7 ・ 9 ・ 10 月	かいが 絵画 動物のスケッチ (5)	(知) 鉛筆の材料や色の濃さの種類を知り、色の濃淡を6段階に塗り分ける技能を身に付けている。 (知) 動物の写真の中から1枚を選び、目や口の大きさや角度、皮膚の柔らかさ等を鉛筆で描いている。 (思) 色鉛筆の濃淡や重ね塗りなどの工夫を取り入れながら、顔の陰や体毛などの色の違いを表現している。
	7 ・ 9 ・ 10 月	こうげい 工芸 張り子 (8)	(知) 紙の原料や特徴、身の回りの製品について理解している。 (知) 材料や用具、制作の順序を考えながら、見通しをもって活動している。 (思) 造形的なイメージをもちながら、使いたい色や材料を考えて発想を練っている。 (主) 和紙の素材を感じ、紙を扱うことへの興味や関心をもって活動に取り組みようとしている。 (主) 丈夫な硬さの張り子になるよう、厚みを確認しながら粘り強く取り組みようとしている。



	月	単元名 (時数)	評価の観点
後期	10月	鑑賞 ・友達の作品 (1)	(主)文化祭展示作品の中から、構図、色、アイデアなどの観点で、作者の工夫や意図を感じ取ろうとしている。
		名画の鑑賞 (2)	(知)絵画について、構図や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 (思)気に入った作品の良さに気づき、表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を深めている。
	11・12・1月	表現技法 ・スクラッチアート (8)	(知)道具の使い方や制作の手順を理解している。 (思)名画をよく見て、全体と部分の関係を考え、下絵に生かす線を選んでいる。 (思)画用紙にのりやすい絵の具の柔らかさを理解し、適度な水加減で刷毛を用いてムラなく塗っている。 (知)ニードルの種類や安全な使用法、削り方の違いによる表現技法を身に付けている。 (主)作品の良さや工夫を感じ取り、相手に伝えようとしている。
		メディア表現 ・イラストアプリケーションを使ってみよう (2)	(知)イラストレーションアプリを用いた様々な機能や表現方法を知っている。 (主)他の作品例を参考にしながら、興味をもって活動に取り組もうとしている。
	2月・3月	色彩 ・混色 (4)	(知)色彩の特徴や効果を感じ取り、色相環を塗り分けている。 (主)色の三原色である赤、黄、青の絵の具を混ぜることで色が変化することに関心をもって取り組もうとしている。

学習内容 <美術科 2学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4・5月	立体 ・クレヨンでモザイクプレート作り (6)	(主)身の回りの製品の素材やその性質に興味をもって取り組もうとしている。 (知)クレヨンの材料とその特徴を理解している。 (知)道具の適切な使用方法を知り、安全面に気を付け使用している。 (思)作品例を参考にしながら、作りたいプレートの絵柄の構想を練っている。 (思)偶然が生み出す色に、面白さや感じ方を深めている。 (思)モザイクシートやペーストを配置して、作品の構想を練っている。
	6・7・9月	絵画 ・身近な風景を遠近法で描こう (10)	(知)遠近法の基本的な技法を理解している。 (主)構図や角度を変えながら、身近な風景の写真撮影に楽しんで取り組もうとしている。 (知)下描きした風景画に、色鉛筆や絵の具を用いて着色し、光や影などを表現している。 (思)手前にあるものと背景との奥行きを考え、絵の具の濃淡や塗り方を工夫して表現している。 (主)工夫したところや、鑑賞者に着目してほしいところを作品カードにまとめようとしている。
後期	10月	鑑賞 ・美術展の作品鑑賞 (2)	(思)美術展の作品や有名な作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を深めている。
	11・12月	デザイン ・コラージュ (5)	(知)コラージュの組み合わせの面白さやイメージの変化を理解している。 (思)台紙の上でパーツを組み合わせ、作品の主題や構想を練っている。 (主)友達同士で完成した作品を鑑賞し合い、組み合わせの工夫やイメージの違いを見つけようとしている。
	1月	絵画 ・水墨画 (3)	(知)筆を用いた表現の効果、墨の濃淡を用いた空間の表現などの特徴を理解している。 (主)「鳥獣戯画」の線を筆でなぞることで、動物の造形や筆の動かし方の面白さを感じ取ろうとしている。
	2・3月	彫塑 ・粘土でお菓子作り (5)	(知)意図した立体を造形する力を身に付けている。 (思)作りたいお菓子を具体的にイメージして、形や材料を考えながら構想を練っている。

学習内容

<美術科 3学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4・5月	デザイン ・絵文字をデザインしよう (12)	(知)書体の種類や特徴、与える印象の違いを理解している。 (思)字から連想した形や色を絵に表し、文字と組み合わせて構想を練っている。 (主)これまで習った技法や画材、配色などの知識を生かして制作に取り組もうとしている。
	6・7月	映像メディア表現 ・写真の表現 (6)	(知)写真を見比べながら、構図や明るさなど写真の撮影に必要な基本知識を身に付けている。 (思)身近な風景や場面を深く見つめ、角度や視点を変えるなど、効果的に表現するための構想を練っている。 (主)他の作品も参考にしながら、撮影や編集に興味をもって取り組もうとしている。
	9・10月	版画 ・回転版画 (6)	(知)図形の回転や繰り返し、重なりなどによる画面構成のパターンを知っている。 (知)練習用の版で試しに刷ってみることで、回転版画による図形や色の重なり効果を理解している。 (思)身近な材料を用い、造形的な面白さについて考え、表現している。 (知)インクの量やばれんの力加減など、版画に必要な技能を身に付けている。
後期	11月	校内掲示物展示 (2)	(主)鑑賞者の視点に立って、見やすい大きさや位置を考えながら展示物を配置しようとしている。
	12・1月	工芸 ・卒業制作 「メモリアルボックス」 (18)	(知)ニードルの種類や安全な使用方法、削り方の違いによる表現技法を身に付けている。 (思)卒業制作として表現したい主題を考え、構想を練っている。 (思)アクリル絵の具や色紙などの材料を基に、作品に効果的な着色を加え表現している。 (主)作品の良さや工夫を感じ取り、相手に伝えようとしている。
	2月・3月	絵画 ・自由制作 (4) 鑑賞 ・美術展の作品鑑賞 (2)	(主)これまでの経験をもとに、好みの主題を選び、創造活動の喜びを味わいながら活動に取り組もうとしている。 (思)美術展の作品や有名な作品を鑑賞し、作品の面白さや美しさを感じ取り、その内容について表現している。